

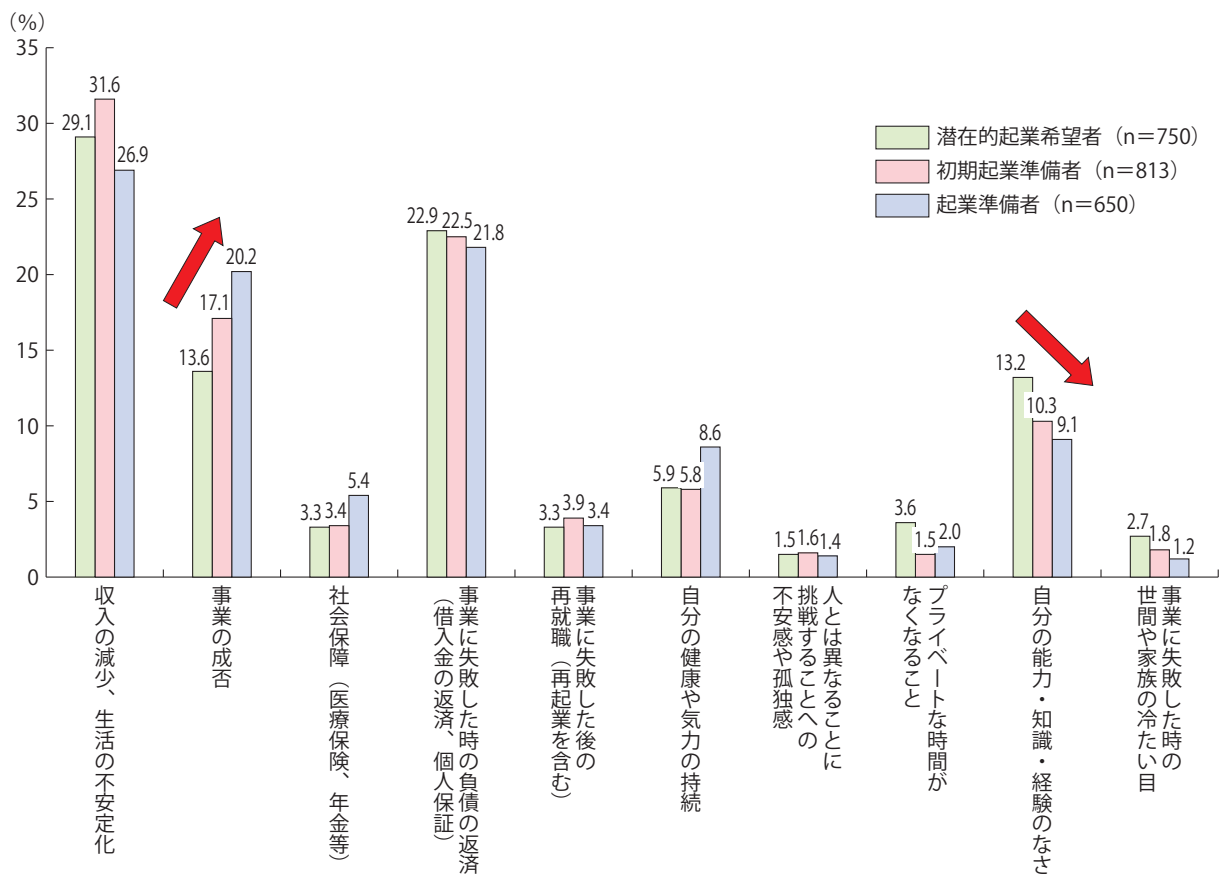
●起業に関して感じる不安

では、起業の段階ごとに、起業に関してどのような不安に直面するかを、具体的に、見ていこう(第3-2-15図)。起業に関して感じる不安として、全ての段階に共通して、「収入の減少、生活の不安定化」、「事業に失敗した時の負債の返済(借入金の返済、個人保証)」と回答する割合が高い。すなわち、起業の一步を踏み出す上で、事業がうまくいかずに収入の減少や生活が不安定化すること、さらには事業失敗時のリスクを懸念する者が多い。こうした不安を少しでも軽減するため、起業家を対象とした何らかのセーフティーネット⁹

の整備が必要といえよう。この点については、第3節で詳しく論じる。

次に、起業の段階が進展するごとに、感じる不安に変化はあるだろうか。図3-2-15図を見ると、段階が進むごとに、「事業の成否」に不安を感じる者が増え、事業を実際に開始した場合の具体的な不安が増加する傾向にある。一方で、「自分の能力・知識・経験のなさ」と回答する割合は減少しており、起業の初期段階におけるこうした漠然とした不安が起業の段階が進展するにつれて減っていくことが分かる。

第3-2-15図 起業の段階ごとに抱く不安



資料：中小企業庁委託「日本の起業環境及び潜在的起業家に関する調査」(2013年12月、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株))

(注) 1. 「その他」は表示していない。

2. 起業の段階ごとに抱く不安について1位から3位を回答してもらった中で、1位として回答されたものを集計している。

⁹ 起業家が起業に失敗した場合における最低限の生活を保障する仕組みをいう。